

# 『地域ふれあい おもいやり』 福祉教育研究県大会実践発表

8月22日に淑徳大学千葉キャンパスで平成23年度福祉教育研究県大会が開催され、午前は福祉教育パッケージ指定の意義と課題についてのシンポジウム、午後は福祉教育推進校・推進団体の実践発表が行われました。

パッケージ指定とは、地域の福祉団体と学校が連携して地域ぐるみで福祉教育を推進するための取り組みで、増尾地域ふるさと協議会は平成21年に東葛飾教育事務所管内のモデル地区として土小、増尾西小、土中、柏南高とセットで指定を受けました。

実践発表は地域ごとに分散して行われ、推進校、推進団体が成果を報告。土小は、地域の農家の協力を得て行う田んぼ作り、増尾ダイヤモンドクラブとの交流。増尾西小は、NPO法人ネットワークハーモニーと連携してタイに学用品を贈ったり、お年寄りにクリスマスカードを贈る活動。土中は、当ふる協主催の『敬老のつどい』や『地域ふれあいのつどい』への参加。土中バザーとふる協『グラウンドゴルフ大会』とのコラボという新企画も始まりました。

柏南高は、『ゴミゼロ運動』や『子育てサロン増尾』の手伝いなど。そして当ふる協は、児童、生徒の参加により、恒例の行事が、よりいっそう活性化されたことを発表しました。



柏南高生が子育てサロンのお手伝い

『地域 ふれあい おもいやり』をテーマに、この2年半、いっしょにできることは何かとの話し合いを重ね、各学校の先生方と“顔の見える”“何でも言える”関係を持てたことは、福祉コミュニティづくりのうえで大きな飛躍のもととなりました。 地区社協部 大江 幹

## 謹んでお悔やみ申し上げます

増尾地域ふるさと協議会監事柴田通則（しばた・みちのり）さん72歳は、平成23年8月29日にご逝去されました。

柴田さんは平成18年4月から平成23年8月までの5年5か月にわたり、当ふるさと協議会の監事として、豊富な知識と長年培った経験を生かした適切にご指摘により、ふるさと協議会の運営をご指導くださいました。そのご尽力に対し深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 緑のカーテンで節電効果抜群

厳しい暑さの続いた今年の夏、皆さんはどんな対策をしましたか。

昨年に引き続き実施された、節電とCO<sub>2</sub>の削減を目的とした『柏市23年度緑のカーテンモデル事業』に増尾ふる協も参加しました。

5月17日、ゴーヤ苗を希望された57世帯に4株ずつを配布。見事に成長し、節電効果も抜群、「おいしいゴーヤも収穫でき、来年もまた、この事業を期待している」との声も聞かれます。皆さんも『緑のカーテン』に挑戦してみてはいかがでしょうか。 環境部 中山 紀之

## 増尾地域ふるさと協議会 創立30周年記念式典開催

『増尾地域ふるさと協議会』（増尾ふる協）は、今年創立30周年を迎えました。

この間、多くの方々が協議会活動に関わり、いろいろな活動を懸命に進めてこられました。こうした先人たちの努力に報い、また、新たな活動への励みとするために創立30周年記念事業の一つとして、創立30周年記念式典を行うことにいたしました。

とき 10月23日(日)

ところ 増尾近隣センター体育室

なお、勝手ながら、会場等の都合により、式典へのご出席はご招待の方のみとさせていただきます。

### 奮ってご参加ください!!

地域ふれあいのつどい 11月5日(土)

文化祭 11月5日(土)～6日(日)

グラウンドゴルフ大会 11月13日(日)

スポーツ・レクリエーション大会 11月20日(日)

オトコの料理教室 12月8日(木)

健康づくり推進員地域健康講座

テーマ：「お口のことから介護予防」

講師：金剛寺歯科クリニック 金剛寺高宏氏

とき：10月13日(木) 午前10時～

ところ：増尾近隣センター体育室

消費生活コーディネーター南ブロック講演会

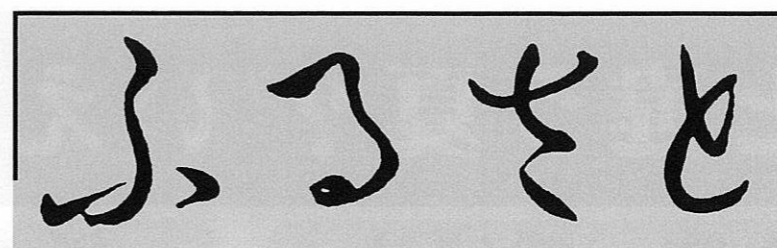
テーマ：「介護保険サービス、分かりますか」

講師：柏市介護保険管理室・高齢者支援課

とき：11月24日(木) 午前10時～

ところ：南部近隣センター2F会議室

※詳細は回覧やチラシでお知らせします。



吉田 稔 筆

### みんな元気 住んで良かった この地域

平成23年10月 No.99

●編集・発行  
柏市増尾地域ふるさと協議会  
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033  
柏市増尾三丁目1番1号  
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

## 『地域包括支援センター』って？ 地区懇談会で解説

最近よく耳にする『地域包括支援センター』の名。でも、よくわからないという方が多いのでは。そこで、7月10日と17日の両日、増尾近隣センターで開催された地区懇談会では、各町・自治会から数名が参加し、その役割について話を伺いました。

講師は、平成22年に南増尾リフレッシュプラザ1階に開設された『柏南部地域包括支援センター』増尾地域担当の盛有紀（もり・ゆき）さんです。

地域包括支援センターには、地域住民の心身の健康維

持、生活の安定、保険・福祉・医療の向上と増進のために必要な援助、支援を担うために4つの役割、①介護予防ケアマネジメント、②高齢者の権利擁護、③総合相談支援、④包括的・継続的ケアマネジメントがあります。

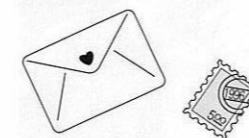
介護保険についてどこに相談してよいかわからない、一人暮らしの高齢者の様子がおかしい、怪しげな業者が出入りしている、介護保険等につき町会・サロン単位で話が聞きたい、そんな相談は地域包括支援センターへ。また、5～6人集まれば、無料の出前講座もあります。

柏市には、現在7か所にセンターが開設されており、主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士などの専門職の職員がおります。 地区社協部 直正 節子

## 私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

### 木戸前町会



昭和30年代初め、増尾字木戸前の山林が2期に渡り分譲されたのが木戸前町会の始まりで、当初は約30世帯あり、木戸前住宅会と称していたようです。

当時の分譲は、土地を区分販売するもので、現在のように電気や上下水道、ガス、舗装道路等の完備した分譲地ではありませんから、居住当時は電気がなく3か月間ランプ生活を余儀なくされ、県道市川柏線から町内に電気を引くための木製電柱は町会員が負担するなど、たいへんな苦勞をしてライフラインを整備したとのこと。

こうして誕生した当町会も半世紀が経過し、100世帯となり、老若がほどよく入り交じり、皆が挨拶を交わすのが自慢の町会となりました。

世帯数が少ないことから、大きなイベントは出来ませんが、新年会と秋の防災訓練を兼ねた芋煮会を毎年開催し、町会員相互の親睦を深めています。このほか毎月第2金曜日「お元気ですか」を合言葉に集会所で、体操そしてお茶を飲みながらのよもや

話。また、老化防止に簡単な手作りなどで親交を深める婦人部『コスモス会』の活動も盛んです。

最近では麻雀教室、お花見めぐりと称しての公園や寺院への散策など、良好なコミュニケーション作りのための場も設けています。

今年4月に、町会員参加の行事につきアンケート調査を行いました。結果は第1位がウォーキング、次いでバス旅行、ラジオ体操の順でした。これをもとに、6月から参加希望が一番多かったウォーキングを毎月第4水曜日に始めました。

当町会にも、独居高齢者が増えております。それによって生ずる種々の問題も、現在は近隣の好意によるご近所力で解決していますが、世代交代に伴う価値観の相違などもあり、今後どのように乗り越えていくかは私たちに課せられた宿題です。これは当町会に限らず、近い将来、地域社会の大きな課題になるのではないのでしょうか。 会長 高林 幹雄

# いつもと違う夏？ いえ 子どもたちの夏は華やかににぎわう

## 暑さなんか吹っ飛ばせ —ちびっこ体操教室—

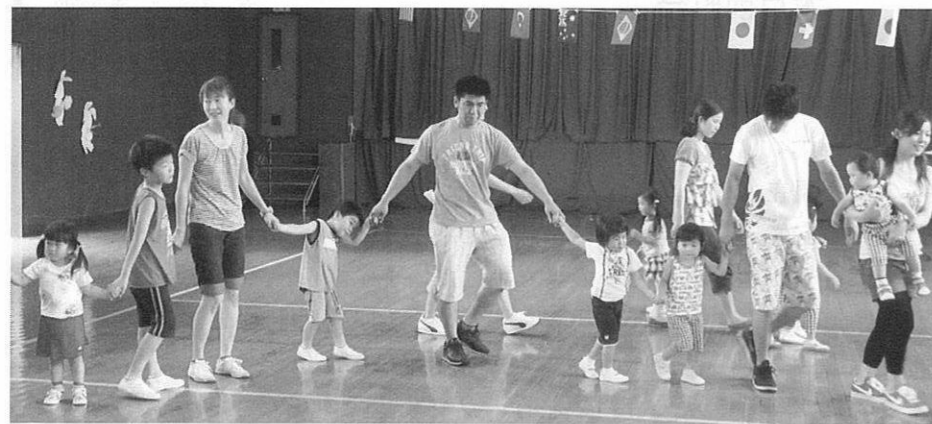
7月3日、朝からうだるような暑さの中、今回初参加の親子を含む若いお父さんお母さんそしてちびっこたち、19組47名の参加者が体育室に集まりました。午前10時、サー！ちびっこ体操教室の始まりです。おなじみの石原由紀子先生といっしょに、アンパンマンの音楽に合わせて親と子の楽しいリズム体操。明るい笑いが響く中、皆汗だくで4台の大型扇風機もフル稼働。水分補給の休憩をはさんで、体育室内に設けられたさまざまな遊具を使っての運動です。ダンボールのトンネルやキャタピラ、たくさんの輪を使ったケンケンバ、そして人気の平均台。大きなシートが子どもたちにかぶせられる場面では、不安になって一瞬泣き出すこどもも。

配布された当日のスナップ写真と参加賞を手に子どもたちは大喜び。スタッフも汗だくでしたが、たくさんの笑顔ももらい、ちょっぴり満足気分で行事を終了しました。

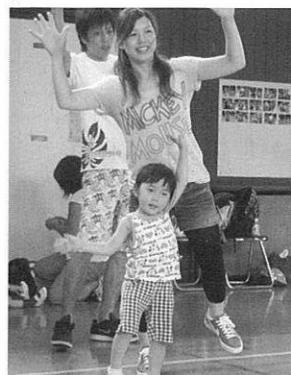
文化体育部 高萩 郁勇



先生の軽快なステップ



パパもママも赤ちゃんも輪になって踊ろう



家族でシンクロしています



急いで!!でも注意深く

## ぼく おむすびできたよ!! —子ども料理教室—

夏休みを間近に控えた7月16日、3年生から6年生までの男子6人、女子9人が調理室に集合。

今回の講師は、加賀在住の上田悦子さん。まず、子どもが対象ということから、安全で楽しく調理できるメニュー作りから。メニューは、おむすび、もみもみ野菜、ゆで卵、ゼリー。普段、包丁やガスを使機会が少ない子どもたちは、説明に耳を傾け、そして調理を開始。おぼつかない手つきで包丁を握り一生懸命。スタッフも参加者以上に緊張。最後に作ったおむすびは、みんなとても上手にできました。きっとお母さんが作ってくれるおむすびとは、一味違っ

ていたのでは？ 男の子も女の子もケガをすることなく、楽しくすべてのメニューを完成することができました。

家庭ではあまり野菜を食べない子どもたちが、パクパクとおいしそうに試食。そして「自分で作ったからおもしろかった」「ぜひ、また参加したい」などうれしい感想がいっぱい。スタッフ一同、ホッと胸をなでおろしました。

今後の料理教室は、12月8日『オトコの料理教室』、2月18日『うどん作り』を予定しています。回覧で募集をいたしますので、奮ってご参加ください。

地区社協部 張替 節子



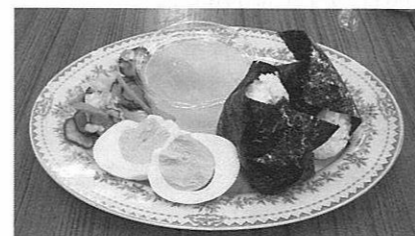
これで何グラム？



大丈夫かな？ 慎重に！ 慎重に！



先生の説明をよく聞いてから実習スタート



ハイ！盛り付け完了

## また一つ夏の思い出が —町・自治会の夏祭り—

震災や節電の影響で中止も多かった今年の「夏祭り」でしたが、増尾地域では、にぎやかに繰り広げられました。

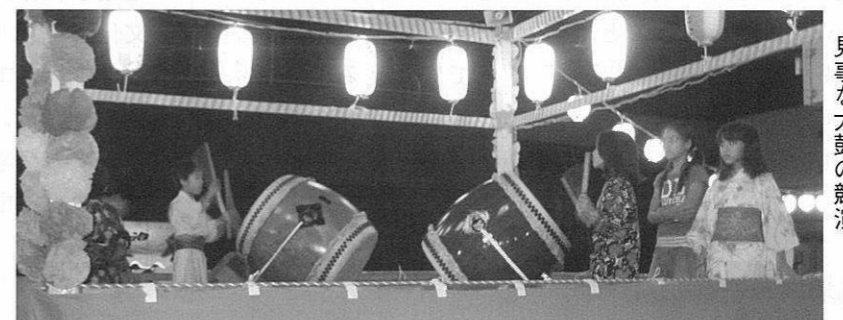
厳しい暑さの中、7月16日・17日には松野台自治会。8月6日・7日には同じく酷暑の中、2日目は夕立のために一時中断というハプニングもあった加賀町会。そして8月20日・21日の予定が、2日目は雨により中止となった増尾町会でしたが『増尾音頭』初披露に沸いた一夜となりました。8月27日には、増尾地域最後の夏祭りが南ヶ丘自治会で実施されました。

ちょうちんのあかりの中で走り回る子、顔を真っ赤にして汗を流しながら山車を引く子、どんなときも子どもたちは元気いっぱい。そしてお祭りが終わるとともに、今年の夏は過ぎていきます。



「Happy夏祭り」にようこそ (松野台自治会)

私とあわせて踊ろうね (加賀町会)



見事な大鼓の競演 (南ヶ丘自治会)

『増尾音頭』初披露 (増尾町会)



いざ！山車の出番です (加賀町会)

